

中堅国の生きる道

論説委員 田中伸明

日々小論



カナダのカーニー首相が1月の世界経済フォーラム年次総会
 の世界経済フォーラム年次総会
 の共感が世界に広がっている。
 大国が自国の利益のために力
 を振るい国際秩序を弱体化させ
 中、カナダなどのミドルパワ
 ー（中堅国）が進むべき道を説
 いた。多くの人が抱く不安をす
 くい上げ、今後の行動原理を明
 示した点が反響を呼んだ。

カーニー氏は言う。「世界秩
 序は断絶の中にある。美しい物
 語は終わった」。念頭に米国の
 変容があることは間違いない。
 カナダは世界最長の非武装国
 境で米国と接し、経済でも安全
 保障でも緊密な関係を築いてき
 た。民主主義の理念を共有する
 米国と手を携えていれば安全と
 繁栄を享受できるはずだった。

ところが、第2次トランプ政
 権発足で状況は一変する。トラ
 ンプ大統領はカナダを影響下に
 置く意思を隠さず「米国の51番

目の州になるべきだ」とまで公
 言した。カナダ側の反発には高
 関税で報復した。

「古い秩序は戻らないが、嘆
 くべきではない」とカーニー氏。
 中堅国が連帯すれば大国に対抗
 できる力を得られると強調す
 る。その旗印は新しい概念では
 なく、誠実さや人権、主権の尊
 重など普遍的な価値という。

米国との関係の重要性は変わ
 らない。しかし、迎合し従順で
 あるだけで安全は望めない。カ
 ーニー氏は「同盟国にも競合国
 にも同じ基準を適用すべきだ」
 と強調する。賛同する国が多け
 れば多いほど強さの源になる。

米国とイスラエルによるイラ
 ン攻撃に対しては、核開発阻止
 の必要性を理解を示しつつ「国
 際法と矛盾する」と批判した。

カナダと同様、米国と同盟関
 係にある日本はどう振る舞うべ
 きか。同じ中堅国としてカナダ
 から学ぶべき点が多い。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 空欄に入る国際会議の名前を、次の㉠～㉥から選んで、記号で書きましょう。

- ㉠ G7サミット ㉡ COP
- ㉢ IMF ㉣ ダボス会議

2 これまでのカナダとアメリカの関係はどんなものでしたか。本文中から15字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましよう。

～

3 トランプ大統領はカナダに対して何と言いましたか。本文中から1文で抜き出し、最初の3文字を書きましよう。

4 傍線部で、カーニー首相はどのように行動しようと言いましたか。解答欄に合わせて、本文中から20字と9字で抜き出し、それぞれ最初と最後の3文字を書きましよう。

～

という概念の旗のもと、

～

大国に対抗できる。

NIEワークシートのこたえ（2026年3月19日公開）

◆ワークシート「中堅国の生きる道(社会)」 2026.3.19付 朝刊 12面 解答

1 ㊦

2 経済で～な関係

3 トラン

4 誠実さ～な価値 中堅国～すれば